

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立中小企業人材開発センター	所管課	産業労働部 産業人材育成課
所在地	甲府市大津町2130-2	設置年月日 (改築年月日等)	平成23年4月1日
管理方式	山梨県職業能力開発協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立中小企業人材開発センター設置及び管理条例		
設置目的	労働者の職業能力の開発及び向上を促進するため、中小企業の事業主等の行う職業訓練を支援するとともに、技能検定試験を実施するための施設として、中小企業人材開発センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 3,927.77㎡ ○建築延面積 ・主たる建物 1,791.87㎡ ・附属建物 490.97㎡ ○建物の構造 ・主たる建物 鉄筋コンクリート造3階建 ・附属建物:鉄骨造平屋建 ○施設の内容 ・会議室(81㎡、24人) ・第1～6研修室(54㎡、20～30人) ・第7研修室(74㎡、30～45人) ・実習室(81㎡、20人)、 ・視聴覚室兼大研修室(192㎡、96～144人) ・多目的実習場(全面400㎡、半面200㎡) ・敷地内駐車場(44台) 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の管理に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨
---------------------	--------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	認定職業訓練	1,199	985	301	1,000
	技能検定	7,090	7,582	3,186	7,250
	研修・講習	34,390	34,455	10,532	34,000
	会議・その他	10,306	9,729	3,325	10,000
	利用者数合計	52,985	52,751	17,344	52,250
	目標値	52,500	53,000	53,500	52,250
	目標値設定の考え方及びその理由	平成24年度～平成27年度の利用実績の平均が51,928人であったため、平成29年度の目標値を52,000人で設定し、平成30年度以降は前年度目標値の1%増に設定。 令和3年度については、平成28年度から令和元年度の平均年間利用者数約52,250人を目標値として、以降通常時450名増、コロナ対策を講じた場合300名増とする。			
対平成30年度比		99.6%	32.7%	98.6%	
利用率	43.4%	48.6%	34.3%	43.0%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	9,109,785	8,455,000	6,799,490	8,830,000
	指定管理者委託料	14,162,000	14,946,000	14,946,000	13,583,000
	その他	286,924	355,000	909,260	295,000
	収入合計(A)	23,558,709	23,756,000	22,654,750	22,708,000
支出	人件費	10,848,789	12,816,000	10,961,942	12,089,000
	県への納付金	163,157			
	管理運営費	11,929,522	7,530,000	11,392,500	10,619,000
	うち外部委託費(B)	3,274,334	3,410,000	3,769,122	3,232,000
支出合計(C)	22,941,468	23,756,000	22,354,442	22,708,000	
収支差額(A-C)	617,241		300,308		
外部委託比率(B÷C)	14.3%	14.4%	16.9%	14.2%	
利用者一人当たりの経費	268.5	279.4	861.7	260.0	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期: 令和2年4月～令和3年3月 実施方法: 利用当日、アンケート用紙を配布し、利用終了時に回収 回答数: 557人
--------------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設のサービス提供	98.9%	1.1%		
②施設の整備状況	98.6%	1.4%		
③職員の対応	99.5%	0.5%		
施設全般の満足度	99.3%	0.7%		

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「冷房の効きが弱く、暑い」など、温度調整が個別に出来ない研修室を利用された利用者から空調に対する意見が多かった。 ・県内色々な施設をお借りして、研修会を実施しておりますが、当施設はコロナ感染に対して万全の体制を組まれていると感じました。 など、コロナウィルス感染防止対策について同意見が3件
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止の換気のために窓を開けている時間が長いこともあったので、受講生の人数を聞いて、一時ドアを閉めるなどの話をして対応した。 ・既存の扇風機を使うことで対応した。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>年度当初より、新型コロナウイルス感染症の拡大予防に徹底して取り組んだ。建物や設備の目視点検、清掃活動を始業前に全職員で行い、安全で清潔な施設を提供することで利用者の満足度を獲得した。</p> <p>各種設備の点検は計画に基づき専門業者に委託して実施した。</p> <p>災害発生時の職員配置や、連絡網を確認し、非常時に各職員が円滑な対応ができるよう心がけた。</p>	<p>事業計画の施設の維持に関する業務に基づき、適正に実施されている。</p> <p>引き続き、関係法令等を遵守し、利用者にとって安全で快適な施設管理に努めること。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症防止対策については、ガイドラインに従い適正な施設管理が行われている。やまなしグリーン・ゾーン認証移行後も基準を遵守し、感染対策を徹底して行うこと。</p>
運営業務	<p>条例に基づいた管理運営を行った。</p> <p>運営方針である、労働者の職業訓練を支援する施設、技能検定を実施するための施設として不備がないよう業務を執行した。</p>	<p>条例及び利用規程に基づき、適正に運営されている。利用者の満足度も「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%であり、利用者の立場を考えた運営が行われていると判断できる。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、貸室利用のキャンセルや前期技能検定試験の中止などがあり、利用状況に影響を受けた。</p> <p>感染拡大防止対策のため各研修室の定員を制限したため、利用者数は大きく下回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の関係で利用状況は大幅に悪化した。感染症対策を含めた利用者の満足度は非常に高く評価できる。</p> <p>コロナ禍により大きく変化している利用者のニーズに沿った講習内容を検討し、積極的なPR活動を行い、できる限り利用者の増加及び稼働率の向上に取り組むこと。</p>
収支状況	<p>収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により、貸室利用数が減少し、収支計画を下回った。</p> <p>支出に関しては、収支計画を下回った。</p>	<p>収入は新型コロナウイルス感染症の影響による休館や利用自粛の影響により計画を下回った。コロナ禍で貸出件数の増加は厳しい状況ではあるが、徹底した感染症対策をアピールするなどして貸出件数の増加を図ること。</p> <p>また支出についても同様の理由により、特に光熱水費が計画を大きく下回った。今後、貸出件数が回復しても節約に努めていくこと。</p>
自主事業	<p>自主事業計画書に沿って、企画をしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施に至らない事業が複数あった。</p> <p>労働者を対象に階層別訓練やOA機器を使用したパソコン講座など、10講座(121名)の実施、また、幅広い利用者を獲得するため、松の手入れ教室や、小学生を対象とした親子ものづくり教室(2講座)などを実施し、幅広い年齢層の利用者を獲得した。</p>	<p>自主事業は計画書に基づき、適正に実施されている。今後も新型コロナウイルス感染症による社会情勢などにより大きく変化する利用者ニーズを把握し、効果的な事業を計画して施設の利用率の向上に努めること。</p>
利用者満足度	<p>すべての項目で、高い評価を受けてはいるが建物や設備が古く、温度管理が難しい中、換気を強制的に行ったことで、利用者から冷暖房に関するご意見は例年より多かった。</p> <p>職員による環境美化などの出来ることを行い、満足度を上げていく。</p>	<p>利用者満足度は高く、感染症対策を含め、利用者の立場に立った運営がされていると評価できる。新たな利用者の確保とリピーターの増加を図るため、より一層のサービスの向上と事業の見直し等に努めること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>労働者の職業能力開発及び向上を促進するために、職業訓練や技能検定試験を実施する施設であり、より多くの企業等に利用してもらえるよう、利用者数増加及び稼働率向上を運営目標としている。</p> <p>令和2年度は、4月から5月に新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受け休館、また前期技能検定試験は中止、さらに感染拡大防止対策として各研修室の定員が通常の3分の1となり、利用者数が17,344人と目標値を大きく下回った。</p> <p>稼働率も34.3%と前年度の実績値を下回ったが、施設全体の利用者満足度は99%以上であった。</p> <p>施設利用者数: 運営目標53,500人 実績値17,344人 稼働率 : 前年度実績48.6% 実績値34.3%</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理、運營業務、自主事業について、条例、協定及び事業計画に基づき、適正に履行された。</p> <p>利用者数及び稼働率は新型コロナウイルスの影響で前年度を大幅に下回ったが、利用者の満足度は高く、コロナウイルス感染拡大防止対策も含めて、利用者の立場を考えた運営が行われていると判断できる。</p> <p>引き続きサービスの維持に努め、新規の利用者の獲得やリピーターの増加に取り組んで、利用率の向上を図ること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>コロナ禍というなかで、管理運営を行うには前例のない難しい状況ではあるが、感染防止対策を講じながら、利用者の要望に可能な限り応え、サービス向上を図った。また、経年劣化した施設の修繕にも取り組み、安全や利便性を考慮した管理運営を行った。</p> <p>さらなる利用者の増加と稼働率の向上を図るため、環境整備や自主事業の見直し等に取り組んでいる。</p>

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

